

調査の概要等

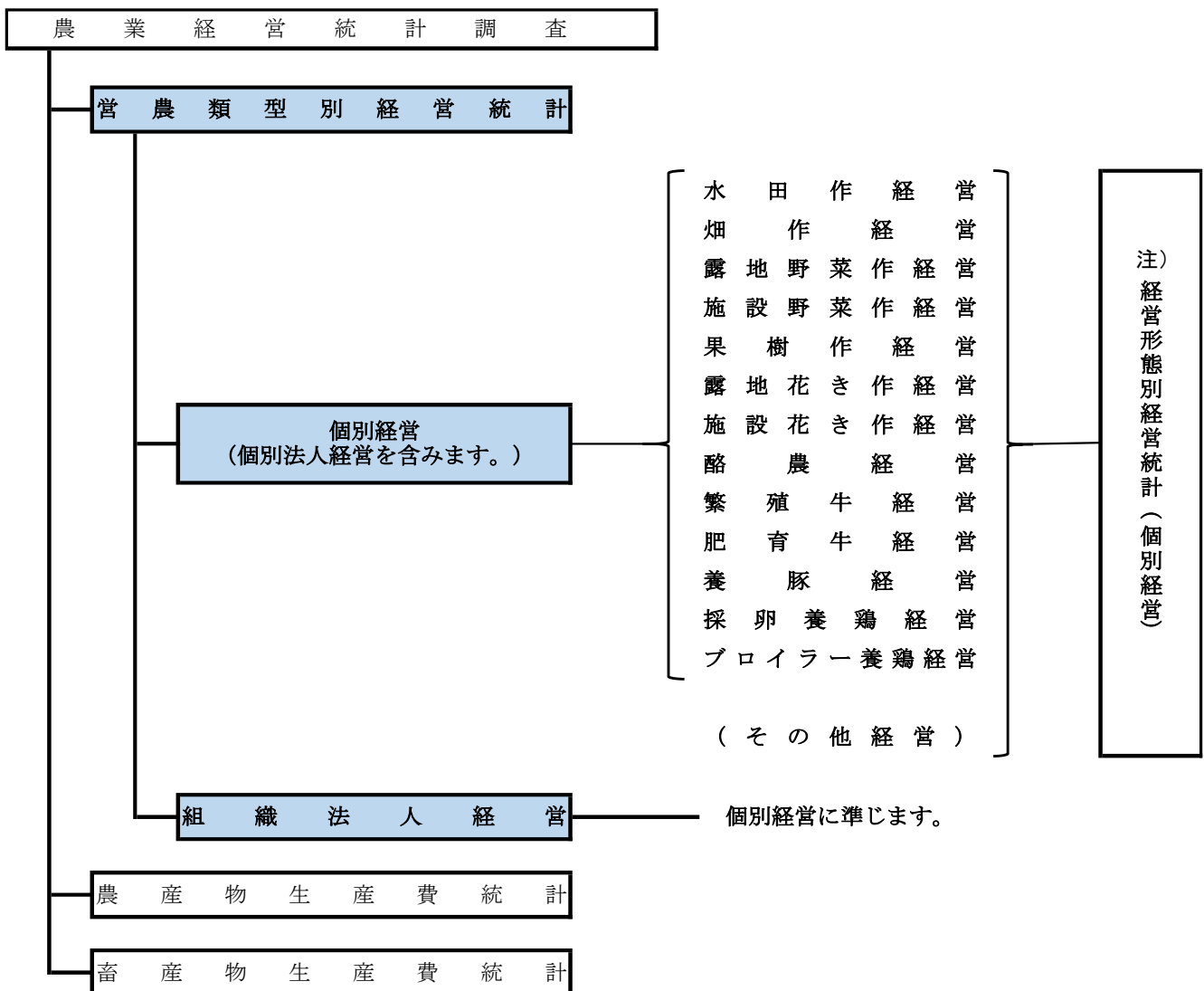
1 調査の目的

農業経営統計調査は、農業生産物の販売を目的とした農業経営体（個別経営・組織法人経営）の営農類型別等の農業経営の実態を明らかにし、農政の資料を整備することを目的としています。

個別経営とは、農業生産物の販売を目的とする農業経営体のうち、世帯による農業を行う経営体をいい、このうち法人格を有するものを「個別法人経営」といいます。

組織法人経営とは、個別経営以外の農業経営のうち法人格を有するものをいいます。
 農業経営統計調査においては、その経営の売上高に占める農業と農業生産関連事業の売上高の合計が50%以上であり、かつ損益計算書及び貸借対照表が整備されているものを調査対象としています。

2 調査の体系



注：経営形態別経営統計は、営農類型別経営統計の全データをまとめたものです。

調査の概要等

3 調査対象経営体の営農類型区分及び分類基準

営農類型の種類	営農類型の分類基準
水田作経営	稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、水田で作付けした農業生産物の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
畑作経営	稲、麦類、雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の販売収入のうち、畑で作付けした農業生産物の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
野菜作経営	野菜の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
露地野菜作経営	野菜作経営のうち、露地野菜の販売収入が施設野菜の販売収入以上である経営
施設野菜作経営	野菜作経営のうち、露地野菜より施設野菜の販売収入が多い経営
果樹作経営	果樹の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
花き作経営	花きの販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
露地花き作経営	花き作経営のうち、露地花きの販売収入が施設花きの販売収入以上である経営
施設花き作経営	花き作経営のうち、露地花きより施設花きの販売収入が多い経営
酪農経営	酪農の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
肉用牛経営	肉用牛の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
繁殖牛経営	肉用牛経営のうち、肥育牛の飼養頭数より繁殖用雌牛の飼養頭数が多い経営
肥育牛経営	肉用牛経営のうち、肥育牛の飼養頭数が繁殖用雌牛の飼養頭数以上である経営
養豚経営	養豚の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
採卵養鶏経営	採卵養鶏の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
ブロイラー養鶏経営	ブロイラー養鶏の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
その他経営	上記の営農類型に分類されない経営

調査の概要等

4 統計項目の説明

(1) 分析指標の計算方法

この資料に掲載している分析指標の算式は、次のとおりです。

- 農業依存度 (%) = 農業所得 ÷ (農業所得 + 農業生産関連事業所得 + 農外所得) × 100
⇒ 経済活動による所得のうち、どれだけが農業所得に依存しているかを示す指標です。
- 農業所得率 (%) = 農業所得 ÷ 農業粗収益 × 100
⇒ 農業粗収益のうちどれだけが農業所得として実現するかを示す指標です。
- 農業固定資産装備率 (円) = 農業固定資産額 (土地を除く) ÷ 自営農業労働時間 × 1,000
⇒ 固定資産装備の大きさを示す指標です。一般的には労働者一人当たりの固定資産額をいいますが、農業の場合は、農業労働に季節性があることなどから自営農業労働1時間当たりの固定資産額で示しています。なお、自営農業労働時間とは、自家農業労働時間と農作業受託に係る労働時間を合わせたものをいいます。
- 家族農業労働1時間当たり農業所得 (円) = 農業所得 ÷ 家族農業労働時間 × 1,000
⇒ 投下された家族農業労働の単位時間当たりの農業所得でみた労働収益性を示す指標です。この指標により異なる部門間や同一部門での規模間比較が可能です。
- 農業固定資産千円当たり農業所得 (円) = 農業所得 ÷ 農業固定資産額 (土地を除く) × 1,000
⇒ 投下された農業固定資産の単位金額当たりの農業所得でみた資本収益性を示す指標です。「家族農業労働1時間当たり農業所得」と同様に異なる部門間や同一部門での規模間比較が可能です。
- 経営耕地面積10a当たり農業所得 (円) = 農業所得 ÷ 経営耕地面積 × 10
⇒ 経営耕地の単位面積当たりでどれだけ農業所得を得られたかをみる指標です。経営耕地の利用度とも関係して稲作などの土地利用型部門での比較において有用な指標です。

(2) その他

○ 農業生産関連事業

当該農業経営体が営む「農産加工」、「農家民宿」、「農家レストラン」、「観光農園」、「市民農園」等の農業に関連する事業です。

○ 農業固定資産

農業経営の生産手段として長期（1年以上）にわたって使用される資産をいいます。農業経営統計調査では、固定資産として、土地、建物、生産管理機器、自動車、農機具、植物、動物などの生産装備状況（1年間の農業経営を行うに当たり、あらかじめ用意した生産手段）について把握しています。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報でご覧いただけます。

【<http://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>】

- 農業経営統計調査の結果は、「農業経営統計調査」でご覧いただけます。

【<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/index.html>】

お問い合わせ先

◎当資料について

農林水産省九州農政局統計部

統計企画課

電話：(代表) 096-300-6539 内線4926

(直通) 096-300-6534

FAX： 096-211-9822

◎農業経営統計調査について

農林水産省九州農政局統計部

経営・構造統計課

電話：(代表) 096-211-9111 内線4931

(直通) 096-300-6545

FAX： 096-211-9823

◎農林水産統計調査全般について

農林水産省九州農政局統計部

統計企画課

電話：(代表) 096-211-9111 内線4924

(直通) 096-300-6538

FAX： 096-211-9822